

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 育つ力		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 19名 (42.2%)
○従業者評価実施期間	2025年 3月 24日		2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所では行えない、子どもの発達の順序に沿って提供する発達支援プログラムがある点</li> <li>・プログラムに基づいて、必要な力を就学までの時間を活かして万遍なく身につけていける点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～4年間を使って一貫した発達支援プログラムに基づいた支援をしているため、効果測定を一定基準にて行えるメリットを活かして、より効果的な内容にバージョンアップを行なっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター開所後、ちょうど4年が経過したため、全編を通じての修正、調整を行っていく。</li> <li>・プログラムを実施する主体である職員に対し、指導方法について再度見直ししていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野ごとに、専門職の中でも一線級の人材を擁しており、お子さんと保護者へ当センターでしか行えない支援を提供している点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援において、発達全体を俯瞰して全体の支援内容を整えられる人材は非常に限られるため、そういった人材の確保及び時間数の増加などを行なっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的に継続が可能となるよう、体制維持と更新となる人材の確保、育成にも力を入れていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターとしては、民設民営という非常に珍しい形態で運営しており、自由な形態や柔軟な対応が可能な点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い意味で縛りが少ないため、利用児の状態に合わせた通所設定を有効に行なっている。</li> <li>・地域において、重要な部分に関して重点的に参加していくなど、フレキシブルに判断・参画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関を念頭にした国の指針に対して、地域性や小規模自治体に設置しているメリットを活かした柔軟的・弾力的運営を行っていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的ニーズが思っていた以上に多いため、年齢が上がってからの利用希望の児童が特に待機となりやすい点</li> <li>・複数年を念頭とした支援プログラムを提供している関係で、利用児の入れ替えのタイミングが限られる点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャパシティ不足が課題として明確ではあるが、定員を増やす物理的余地(認可を受けるための床面積等の基準)がない。</li> <li>・単位を増やす等の方法で切り出しを行うことで受け入れ人数を増やす、といった対応が、現在の開所時間の関係で困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の施設にてカバーできる量に限りがあるため、児童発達支援センターの中核的役割として、地域の児童発達支援事業所への支援を様々な方法や手段で行なっていく。(巡回指導や研修の実施等)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続性、持続性のある事業としての人材確保と育成の点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の発達支援という、一般的にはニッチでありながら専門性が要求されるという領域のため、人材自体が確保しにくい。</li> <li>・育成には時間がかかり必要となる点。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超長期的視点を持って、人材の年齢構成を組み立てていく。</li> <li>・事業の継続性だけでなく、後継といった視点での人材登用と育成を進めていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的色彩を持たない分、公的機関との協同体制構築の困難さがある点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関にとって、当センターと協同する事による相手機関のメリットを明確に示す。</li> <li>・連携機会の増加と、そうした機会を活かした短期から長期に渡る見通しの共有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在取り組み中である、幼保小連携や巡回相談といった連携機会の創出と、その機会に明確な結果を示すことによる協同へのメリットを提示していく。</li> <li>・ロードマップの提示及びプレゼンによる、発達支援・特別支援教育に関する共通認識の形成・合意。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日 2025年 3月 31日  
利用児童数 2025年 2月 28日

回収数 19

事業所名 児童発達支援センター 育つか

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。 (参考：国で定められた職員配置基準は「大人1名：子ども4名」となっています。)	18			1		・なるべく手厚く支援を行えるよう職員配置をする形で努めておりますので、今後も引き続きそのような体制を取っていきます。
	3 生活空間は、子どもに分かりやすいよう工夫された環境になっていると思いますか。また、センターの設備等は発達特性に応じて、バリアフリー化や情報発信・報告等への工夫がなされていると思いますか。	19					
	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの発達段階や特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19					
	6 育つかが公表している支援プログラムは、育つかの提供する支援内容と合っていると思いますか。 ※支援プログラムリンク先 <a href="https://oharu.sodatsuchikara.com/">https://oharu.sodatsuchikara.com/</a>	18			1		・公表しているプログラムは、実際に実施している発達支援プログラムの要約となっております。 内容に関してお聞きになりたい際は、お気軽にお申し付けください。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8 児童発達支援計画（個別支援計画）には「適所によって行われるべき支援」として、「お子さんの現在や将来を考えた支援」、「ご家族に向けた支援(助言や相談、懇談会等)」、「学校園への支援」と言った支援内容から、お子さんの支援に必要な項目が適切に選ばれ、その上で具体的な支援内容が決められていると思いますか。	19					
	9 児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		・育つかでは他の施設と大きく異なる点として、就学までの3～4年間を通して達成していく発達支援プログラムを用いた、小集団での一斉支援を行っている事が挙げられます。 これは、お子さんがある時期に獲得する発達課題を網羅しており、未学習のまま成長した結果、後々お子さんが苦労される可能性を最大限減らす事ができるよう設定しております。 個別支援計画は、日々のカリキュラム内で個々のお子さんが重点的に取り組む内容として、事前に保護者様に向けた希望や願い、或いは心配事や困り事などを反映して作成しております。  個別支援計画の内容に関しては、日々の活動内に織り込む形で個々への支援として取り組んでいますので、そのようなご理解いただけると幸いです。

	10	育つ力の活動プログラムは、子どもの発達段階に応じて工夫されていると思いますか。	18		1		<p>・上に記しました通り、育つ力では就学までの3～4年間を通して達成していく発達支援プログラムを用いた、小集団での一斉支援を行っております。</p> <p>プログラムの課題設定は、月齢と発達の順序に沿った構成となっており、発達段階を最適化した内容となっておりますが、その中でもお子さんごとに適した内容へ調整して実施しております。</p> <p>学年ごとで取り組む内容については、学年別懇談会にて概要をお伝えしております。</p> <p>その時々で質問や疑問等が出るかと思うので、その際には野澤までお気軽にお声がけください。</p>
保護者への説明等	11	育つ力の利用を開始する前に、契約内容、相談内容に沿った活動内容、保護者の負担する金額について丁寧な説明がありましたか。	16	1	2	・3年前で覚えていません。	・設問にあります内容についてご不明な点等ございましたら、いつでもお気軽にお聞きください。
	12	「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら、支援内容の説明が個人懇談にてなされましたか。	18		1	・まだ個人懇談をしていない為。	<p>・個人懇談は、年2回以上は必ずございますので、その際に個別支援計画についても説明させていただきます。</p> <p>・また、ご質問や相談等ございましたら、野澤までお声がけください。すぐにお話させていただきます。</p>
	13	育つ力では、ご家族に対しての定期的な家族支援活動や、ご家族等も参加できる懇談会や参観、情報提供の機会等が行われていると思いますか。	19				
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合う事で、子どもの健康や発達の状況・課題について共通理解ができていると思いますか。	17		1	1	<p>・お迎えの際に毎回詳しい様子をお伝えいただき安心します。</p> <p>・ありがとうございます。なるべくお子さんの様子を正確にお伝えするよう、今後も努めて参ります。</p>
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	1		<p>・定期的には、年度初めの学年別懇談会、年2回以上の個人懇談、毎月1回月曜に開催しております発達専門医相談会がございます。</p> <p>ご相談の内容によっては、今すぐにお聞きになりたい事もありますので、その際には野澤まで遠慮なくお声がけください。すぐにお話させていただきます。</p>
	16	育つ力の職員から丁寧に支援をされていると思いますか。	18		1		・ご不明な点やお聞きになりたい点等ございましたら、野澤までお声がけください。
	17	保護者会や懇談会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていると思いますか。また、きょうだいに関する相談ができるなど、きょうだいへの支援も受けることができていると思いますか。	15		2	2	<p>・先輩保護者の方々のお話を聞ける機会があるのは心強いです。</p> <p>・次年度も継続して懇談会、及び専門医相談会を行いますので、是非ご参加ください。</p>
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対して相談できる機会があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	18			1	<p>・ご相談については、随時お受けしておりますので、遠慮なくお申し付けください。</p> <p>ご相談の内容によって、その場でお話させていただくか、改めて時間を設けてお話しさせていただくかなど、ご希望に合わせて柔軟に対応しております。まずはお声がけいただけると幸いです。</p>
	19	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための工夫がなされていると思いますか。	18		1		・お知らせなどのアナウンスについて改めて検討していきます。
	20	定期的に配信アプリ等で、活動概要や行事予定、連絡の取り方等の情報や、支援に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていると思いますか。 (※これまで、年度末に評価表の集計結果を毎年公表しています。詳細はホームページ下部をご参照ください。 <a href="https://oharu.sodatsu-chikara.com/">https://oharu.sodatsu-chikara.com/</a> )	19				<p>・毎月写真を添えてその月の課題とその取り組みの様子を配信していただきとてもわかりやすいです。</p> <p>・ありがとうございます。配信が遅延してしまう事がありますこと、申し訳ありませんでした。</p> <p>単に様子をお伝えするだけではなく、意味や目的などについてもお伝えしていきますので、ご参考になれば幸いです。</p> <p>・また、何か知りたい内容やテーマがありましたら遠慮なくお申し付けください。</p>

	21	個人情報の取扱いについて、十分に注意していると分かる説明がありましたか。	15	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いに関しましては、利用契約時に説明させていただいた通りに取り扱っている次第です。</li> <li>施設内での個人情報の取り扱いについても、再度確認を行い管理の徹底を図っていきます。</li> </ul>
非常時等の対応	22	育つ力では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が用意されている事を保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていると思いますか。	15	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めにお配りいたします「年間予定表」に記載した通りに、毎月想定を変えた避難訓練を実施しております。非常時に備えて柔軟に非難が行えるよう練習していますので、ご安心ください。</li> </ul>
	23	育つ力では非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練が行われていると思いますか。	16		1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、避難訓練等は各種マニュアルに基づいて実施をし、県の確認を受けております。</li> </ul>
	24	育つ力から子どもの安全を確保するための計画(避難訓練や災害対策)について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>この場をお借りして、改めて周知させていただきます。</li> </ul>
	25	事故等(怪我等を含む)が発生した際に、育つ力から速やかな連絡や、事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して通所していただけるよう、迅速な連絡と詳細な説明を行うための体制及び手続きの見直しを行います。</li> </ul>
満足度	26	育つ力の支援に満足していますか。	17			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援に関してご希望やご要望がありましたら、遠慮なくお申し付けください。より良い支援が行えるよう改善に努めます。</li> </ul>
	27	その他、上記項目に該当しないご意見やご感想・ご要望があれば、こちらのご意見欄へ記入をお願いいたします。	12	4		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧に関わってくださり、とても感謝しております。</li> <li>・育つ力さんに入所させていただいてから、友だちとの関わり方や自分の気持ちの折り合いの付け方、日々の生活の流れまで、見違える程に成長しました。</li> <li>辛抱強く丁寧に関わってくださった先生方のおかげです。</li> <li>・何より本人の表情が生き生きしてきたのが本当に嬉しいです。</li> <li>・専門的なアドバイスもいただけて、普段の様子も細かく教えてくださるので安心して通わせていただいております。</li> <li>・今後ともどうぞよろしくお願い致します。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温かいお言葉をいただきまして、大変励みとなります。ありがとうございます。</li> <li>・育つ力では他の児童発達支援センターでは見られない、就学までの3~4年間を通した発達支援プログラムを作成し、各学年ごとに必要な力を無理なく身につけていけるようにカリキュラムを組んでおります。</li> <li>お子さん達の成長は、ひとえに継続した通所を選択していただき、送迎や懇談といった時間を捻出して通所していただきました保護者様のご尽力の賜物です。ありがとうございます。</li> <li>・必要な事は就学までに一通り練習できるよう熟慮しておりますが、個々のお子さんに特に大切な内容も個別支援計画や日々の活動に盛り込んでいますので、ご希望やご相談があれば遠慮なくお話ししてください。</li> <li>ニーズにお応えすべく都度活動内にて取り組みます。(開所以降、ご相談があった件につきましては、上記のように取り組んでまいりました実績があります)</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 育つ力		公表日		2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点/改善が必要と思う点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースに対して適切であるか。	6	2	・日によって人数が多いと感じる日がある。 ・療育スペースがもう少し広いと動きやすい。	・スペース自体は拡張できないので、机の配置等で工夫できる点は改善していきます。(備品変更も含めて)	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・時々不足していると感じる時がある。	・人員については、常時余裕を持たせるよう確保に複数方面で動いているので、しばらくお待ちください。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は発達特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、子どもが別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	・参画となると努力が必要。	・現在、目標評価制度を本格的にスタートさせたので、業務改善に全員が役割を持って当たることができるよう進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・研修の機会が増えるといい。	・令和7年度は、研修時間の確保を予定に組み込み、専門医指導日を1～2日追加して、学びの機会を確保するようにしました。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 (令和7年1月にHPにて公表済)	7				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・共有が不十分な点もあるが、支援計画に沿った支援をするよう意識している。	・センター全体で全学年分の統一した発達支援プログラムがあるので、そちらも参照してもらいようにすると、個別支援計画にて重点的に取り組む内容。とリンクしやすいと思います。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールや技法(発達検査・知能検査)を用いたアセスメントや、日々の行動観察なども含むアセスメントも併用して確認しているか。	5	1	・行なっているが、情報共有で終わってしまう事もあり、うまく時間を捻出する必要がある。	・検査の読み方等も含め、カンファレンスにて共有するようにします。	
	16	児童発達支援計画には、「通所によって行われるべき支援」として、「お子さんの現在や将来を考えた支援」、「ご家族に向けた支援(助言や相談、懇談会等)」、「学校園への支援」と言った支援内容から、お子さんの支援に必要な項目が適切に選ばれ、その上で具体的な支援内容が決められているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		・センター全体で全学年分の統一した発達支援プログラムがあるので、毎月にお子さん達の習熟度合いを見つつ、クラス単位で調整しています。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・発達段階に合わせたプログラムを心掛けている。	・センター全体で全学年分の統一した発達支援プログラムがあるので、固定化することなく必要な課題に取り組める体制を敷いています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			・センターでは、集団活動に必要な内容を網羅する形を取っていますが、個別に必要な内容等は支援計画に記載し、集団活動内に織り込む形式で個々に合わせた支援を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・毎朝ミーティングを行っている。	・朝の直近のミーティングだけでなく、定期カンファレンスにて必要な内容は事前共有を行なっています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・自分が気づいた点等を共有している。 ・振り返りが共有できていない時もある。必ず打ち合わせを行うには、時間を決めて実施するべき。	・毎週定期的カンファレンスにて情報共有を進めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			・相談支援事業所が複数あるので、会議や子ども部会等、管理者が一元化して参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			・保育所等訪問支援を利用している児は、関係機関との連携・情報共有を密に行なっています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			・幼保小連絡会に例年参加し、子どもの状態や取り組むべき課題や注意点について共有、相互理解が進むように協力しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1		・令和7年度より、自立支援協議会子ども部会長を受任し、関係の強化を図っています。 ・また、令和7年度より通所支援事業所への巡回及び巡回結果に基づく研修を行う予定です。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		・専門家の指導は受けているが、外部研修は少ない。	・学びの機会を増やすために、専門医指導日を増加しました。 ・外部研修も案内があった時点で回覧を回すようにしているので、興味がある研修があれば申告して参加できる体制を取っています。積極的に活用してください。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。(令和6年度より子ども部会に部会員・アドバイザーとして参加。令和7年度より子ども部会長を受任)	7			
	31	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	8		・5歳児等は園行事に参加している。	・ほぼ全てのお子さんが並行通園のため、交流機会は十分に確保できていると思います。 ・その分、施設側は行事を極力減らし、通所による学びの機会を保障しています。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・共通理解を持てるようにしている。時々会えない保護者の方とは連絡ノートを活用している。	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		・ペアレントトレーニングはご要望があれば実施したいと考えていますが、学年別懇談会や専門医相談会等で機会を設けています。
34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
35	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				

保護者への説明等	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。(就学した児童保護者の懇談会を実施している)	5	2	・父母の会、きょうだい同士での交流は行っていない。	・父母会やきょうだい児交流とは銘打って実施していませんが、就学後も集まれる場を用意しています。(就学後の懇談会や専門医相談会の開放など)
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		・情報発信は行っているが、連絡が間近になってしまう事もある。余裕をもってお知らせできると良い。 ・月毎の活動を配信している。	・お知らせに関しては、早めの情報発信をすよう努めていきます。 ・活動の様子配信では、活動風景だけでなく保護者の方にも知ってもらおうと良いコラム等も含めて配信しています。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	42	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
非常時等の対応	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・地域の方を招待する行事がない。	・新規の行事は難しいところですが、令和7年度より本格的に自立支援協議会を通じた地域への貢献を行なっていく予定です。 ・施設見学の依頼等はすべてお受けする形で、透明性の高いオープンな運営を心がけております。また、先進的な当センターでの取り組みについて、大変遠距離から訪問・見学にいらっしゃる方達も多数おありまして、そうした方達への事業紹介・説明といった開かれた事業運営を行っています。
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・周知は不十分だが、訓練は実施している。	・必要なマニュアルと訓練を実施している事を周知します。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	・予防接種の確認は必要。	・予防接種の確認も併せて行えるよう検討します。
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・月齢の低い児には、特に危険がないよう対応している。	・アレルギー対応につきましては細心の注意を払いまして、引き続き決められた手続きに則って行なっていきます。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全管理について、話をした上で支援を行っている。 ・研修、訓練という時間は確保できていない。	・安全計画の作成・点検時に職員全員で共有した上で支援を行っています。研修や訓練についても実施を検討していきます。
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・周知はしているが、連携となると工夫の余地があると感じる。	・非常時の連絡体制については法人全体に係る内容ですので、保育園と連携して取り組んでいきます。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・定期的に内容を吟味して研修を実施しています。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			・身体拘束に関しては、研修だけでなく組織的な決定手続きを厳密に定めております。(事前に保護者の方に説明し支援計画へ記載を要する状況は、開所以降発生しておりません)